

Sonata

第11回（2026年度）

ソナタコンクール 参加要項

古典期のソナチネ・ソナタを学ぶコンクール
今年も豪華審査員・講師陣にて開催！

アカデミー部門 マスタークラス講師



江口 玲 先生



高田 匡隆 先生



朴 久玲 先生



赤松 林太郎 先生

©井村重人

ジュニア育成部門 マスタークラス講師



今田 篤 先生



梅田 智也 先生



梅村 知世 先生



菅原 望 先生



ゲスト講師
稲沢 朋華さん

©Marisa Shimamoto

5月15日版

※内容は変更になる場合がございます

ソナタコンクールとは

ソナタコンクールは、古典期のピアノソナタやソナチネを題材とし、音楽の形式を学び、豊かな表現と説得力のある演奏をめざしていただくことを目的としたピアノコンクールです。アカデミー部門およびジュニア育成部門にて、本選にご参加される方向けに、マスタークラスを開講いたします。ソナチネやソナタに取り組み始めた方々の成果発表の場として、また音楽高校・大学受験への力だめしの場としても幅広くご活用いただけます。「知る・聴く・弾く」で古典期の総合力をつけましょう。

2026年度からの変更点

動画予選は申込時に動画を提出していただきます。

動画のURLが申込時に必要となりますので、ご了承ください。なお、申込期間内は動画のURLの変更が可能です。

開催部門

《ソナチネ部門》

本格的なソナタへの準備として、様式感をもつ良質なソナチネや規模の小さなソナタを題材とした部門です。

《ジュニア育成部門》

ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンの初期ソナタを中心とした、取り組みやすいソナタ作品を課題とした部門です。今後ピティナ・ピアノコンペティションのJr.G級やG級、国内外のハイレベルなコンクールなどを目指される方におすすめです。本選前に実技レッスンと座学講座を受講できるマスタークラスを開催いたします。

《ソナタ単楽章部門》

ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンの本格的なソナタを単楽章で参加できる部門です。1つの楽章をじっくり取り組みたい方、将来的に音楽高校や音楽大学への進学を見据えている方におすすめです。

《アカデミー部門》

ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンの本格的なソナタにチャレンジする部門です。音楽高校・音楽大学への受験対策にも最適です。本選前には実技レッスン・座学講座を受講できるマスタークラスを開催いたします。

開催日程・会場

【予選】

※定員に達し次第締め切りとなります。お早めにお申し込みいただくことをおすすめいたします。

※最新情報は公式ホームページにてご確認ください。

地区名	日程	会場	申込期間
大阪	10月31日(土)	大阪音楽大学 F434 教室	6月1日(月)～10月7日(水)
名古屋	11月1日(日)	名古屋音楽学校 ホール	6月1日(月)～10月7日(水)
東京	10月31日(土) ジュニア育成部門・ソナタ単楽章部門 11月1日(日) ソナチネ部門・アカデミー部門	東音ホール(巣鴨)	6月1日(月)～10月7日(水)
動画	申込時に動画提出	動画審査	6月1日(月)～10月19日(月)

【マスタークラス】

※開催時間は10:00～18:30頃を予定しております。

※本選に出場される方は、原則ご参加ください。参加料は本選参加料に含まれます。

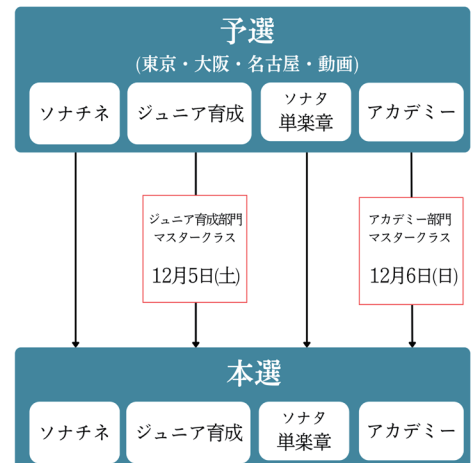
開催部門	日程	会場
ジュニア育成部門	12月5日(土)	桐朋学園大学調布キャンパス
アカデミー部門	12月6日(日)	桐朋学園大学調布キャンパス

【本選】

※部門割は予定です。変更の際は公式ホームページにて発表いたします。

※予選通過者へのみメールにて申込方法をご案内いたします。

日程	開催部門	会場	申込締切
12月19日(土)	ソナチネ部門・ジュニア育成部門 ソナタ単楽章部門	東音ホール(巣鴨)	11月8日(日)
12月20日(日)	アカデミー部門	東京音楽大学 池袋キャンパス B館スタジオ	



参加資格・参加料金

※予選は実地・動画ともに同料金となります。

※予選は1人2地区まで参加可能です。ただし、最初に行われた予選で通過された方は、次の予選では賞の対象とはなりません。審査員からの採点および講評はございます。

※部門の併願はできません。

※参加料は税込です。

部門	参加資格	予選参加料		本選参加料	マスタークラス
		ピティナ会員・指導者割引	一般		
ソナチネ部門	小学1年生～小学4年生	11,000円	12,000円	14,000円	×
ジュニア育成部門	小学5年生～中学3年生 ※飛び級可	13,000円	14,000円	23,000円	○
ソナタ単楽章部門	中学1年生～高校3年生	15,000円	16,000円	25,000円	×
アカデミー部門	中学3年生～大学2年生・浪人生 ※飛び級可	15,000円	16,000円	35,000円	○

- ・ジュニア育成部門のマスタークラスは公益財団法人福田靖子賞基金より協賛をいただきます。
- ・参加料は税込となります。お申し込みの際はシステム利用料（予選 330円 / 本選 440円）が別途必要となります。
- ・ピティナ会員・指導者割引の適用対象者は「ピティナ会員本人／家族（2親等まで）／生徒」となります。
※ただしグランミューズ会員の割引は本人のみ。
- ・割引適用はエントリー時のみとなり、後からの適用は不可となります。
- ・ピティナ入会については右の二次元バーコードからご確認ください。
- ・一旦お支払いいただいた参加料の払い戻しはいたしかねます。
- ・ジュニア育成部門・アカデミー部門の本選申込者は、原則マスタークラスをご受講いただきます（本選参加料に含む）。必ずご予約をご確認の上お申し込みください。※マスタークラスを欠席された場合の返金はございません。



▲ピティナ入会案内

申込方法

《予選》

ピティナ提携コンクールの申込システムを利用してのお申し込みとなります。

右の二次元バーコードにアクセスしていただくか、ピティナ提携コンクール Web サイトの「コンクール一覧」から第11回ソナタコンクールを選択し、お申し込みください。

※ピティナマイページをお持ちでない方は、事前に作成されることをおすすめします。

※各地区、申込期間にかかわらず、定員になり次第締め切ります。



▲提携コンクール

《本選》

予選通過者のみ個別メールにて申込方法のご連絡をいたします。

予選でご登録いただいたメールアドレス宛にご連絡を差し上げますので、ご確認ください。

本選のお申込締切は**11月8日(日)**までとなります。

締切日以降のお申し込みは受付いたしかねますのでご注意ください。

コンクール規約・プライバシーポリシー

お申し込みの際には、右の二次元バーコードより「コンクール規約」「プライバシーポリシー」を必ずご一読ください。お申し込みされた方は、こちらをご承諾されたものとみなします。



▲コンクール規約
プライバシーポリシー

褒賞

予選：各部門にて、成績優秀者の中から優秀賞、奨励賞を選出。優秀賞受賞者は本選へ進出となります。

本選：各部門で、金賞1名、銀賞1名、銅賞1名、奨励賞若干名を選出。

【本選の褒賞内容】

- 1) 各部門の金賞受賞者には、トロフィーを授与いたします。
- 2) ソナタ単楽章部門とアカデミー部門には下記の通り賞金がございます。
ソナタ単楽章部門：賞金（金賞：3万円、銀賞：2万円、銅賞：1万円）
アカデミー部門：賞金（金賞：5万円、銀賞：3万円、銅賞：2万円）
- 3) 各部門の金賞に輝いた方には、ヘンレ賞として、ヘンレ出版社より指定楽譜1冊および楽譜アプリ「ヘンレライブラリ」で使用いただける1,000クレジットが贈呈されます。
- 4) 本選にて金賞～銅賞を受賞された方の演奏動画は、ソナタコンクールのYouTubeチャンネルに掲載いたします。（参加部門、氏名、演奏曲目、賞名を公開いたします。）また受賞された方の演奏動画はピティナ・ピアノ曲事典*への掲載を推薦させていただきます。推薦者全員の掲載を保証するものではありません。

*ピティナ・ピアノ曲事典は一般社団法人全日本ピアノ指導者協会が運営する、ネット最大級のピアノ・鍵盤音楽データベースです。

審査員

音楽大学教授・講師の先生方を中心に、演奏経験・指導経験豊富な審査員に審査を務めていただきます。

予選：3名、本選：5名の審査員が審査をいたします。

青柳 晋（東京芸術大学教授、桐朋学園大学特任教授）、秋場 敬浩（愛知県立芸術大学准教授、お茶の水女子大学非常勤講師）、阿部 裕之（京都市立芸術大学名誉教授）、石井 楓子（桐朋学園大学非常勤講師）、岩倉 孔介（武蔵野音楽大学講師）、金子 恵（国立音楽大学・大学院教授）、財満 和音（昭和音楽大学短期大学部准教授・洗足学園音楽大学非常勤講師）、坂巻 貴彦（ケルン音楽舞踊大学古楽器科講師）、島田 美穂（東京音楽大学非常勤講師）、白石 光隆（東京芸術大学・お茶の水女子大学非常勤講師）、杉本 安子（洗足学園音楽大学名誉教授、昭和音楽大学客員教授）、武内 俊之（愛知県立芸術大学教授、名古屋音楽大学客員教授）、戸田 恵（名古屋芸術大学准教授）、鳥居 知行（大阪音楽大学教授/副学長）、野山 真希（ピアニスト）、朴 久玲（桐朋学園大学教授）、浜野 与志男（東京音楽大学選任講師）、深谷 直仁（桜丘高等学校非常勤講師）、保屋野 美和（ハノーファー芸術大学コレパティ講師）、松本 和将（ピアニスト）、丸山 耕路（大阪音楽大学講師）

※五十音順・敬称略/大学名は略称、ご担当いただく地区は当日まで非公開です。変更になる場合がございます。

その他

- ・コンクール、マスタークラスともに写真およびビデオ撮影をいたします。
- ・動画予選の提出動画、弊社にて撮影した写真および動画ともに、権利は株式会社東音企画に帰属いたします。
- ・公式ホームページや公式SNS、パンフレット等に撮影データを予告なく使用させていただく場合がございます。

お問い合わせ

▼ よくあるお問い合わせ

Q&A ページへ



▼ 予選の申込について

ピティナ提携コンクール
お問い合わせフォームへ



▼ 本選・マスタークラス・コンクール全体について

株式会社東音企画
お問い合わせフォームへ



- [後援] 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会
- [協賛] 公益財団法人福田靖子賞基金
(ジュニア育成部門マスタークラス)
- [褒賞協賛] G.Henle Verlag (ヘンレ出版社)
- [調律協賛] 株式会社河合楽器製作所
(東京予選・本選会場調律)
- [会場協力] 桐朋学園大学 (マスタークラス会場)
名古屋音楽学校 (名古屋予選会場)
大阪音楽大学 (大阪予選会場)
東京音楽大学 (本選会場)

予感。
これからまた新しい夢が訪れることを予感させてくれるピアノ。それが私の「Shigeru Kawai」。

SHIGERU KAWAI
GRAND PIANO

株式会社 河合楽器製作所 <https://www.shigerukawai.jp/>

課題曲

全部門、8小節以内の繰り返しは自由とし、それ以外の繰り返しは省略してください（ベートーヴェン ピアノソナタ第23番を除く）。予選と本選で同じ作品を演奏しても異なる作品を演奏しても構いません。



◎ソナチネ部門

以下の作品より1つを選んで演奏すること。

作曲家	番号	作曲家	番号
クレメンティ	ソナチネ Op.36-1 第1楽章	ハイドン	ソナタ第1番 Hob.XVI:8 第1楽章
	ソナチネ Op.36-2 第1楽章		ソナタ第9番 Hob.XVI:4 第1楽章
	ソナチネ Op.36-3 第1楽章	モーツァルト	ソナタ第16番(第15番) K.545 第1楽章
	ソナチネ Op.36-4 第1楽章		ソナタ第16番(第15番) K.545 第3楽章
	ソナチネ Op.36-6 第1楽章		ソナチネ第6番 へ長調 第1楽章
クーラウ	ソナチネ Op.20-1 第1楽章	ベートーヴェン	2つのソナチネ 第1番(ソナチネ第5番) ㊦長調 第1楽章★
	ソナチネ Op.55-1 第1楽章		ソナタ第20番 Op.49-2 第1楽章
	ソナチネ Op.55-2 第1楽章		
	ソナチネ Op.55-3 第1楽章	★「2つのソナチネ 第1番」は、東音企画発刊楽譜「プレ・ソナチネ」内での曲目表記です。	

◎ジュニア育成部門

以下の作品より1つを選んで第1楽章を演奏すること。

作曲家	番号	調性	作品番号	作曲家	番号	調性	作品番号
ハイドン	第35番	変イ長調	Hob.XVI:43	ベートーヴェン	第1番	へ短調	Op.2-1
	第38番	へ長調	Hob.XVI:23		第5番	ハ短調	Op.10-1
	第39番	ニ長調	Hob.XVI:24		第6番	へ長調	Op.10-2
	第43番	変ホ長調	Hob.XVI:28		第9番	ホ長調	Op.14-1
	第48番	ハ長調	Hob.XVI:35		第25番	㊦長調	Op.79
モーツァルト	第1番	ハ長調	K.279	/			
	第2番	へ長調	K.280				
	第3番	変ロ長調	K.281				
	第5番	㊦長調	K.283				
	第8(9)番	ニ長調	K.311				

◎ソナタ単楽章部門・アカデミー部門

【予選】以下のピアノソナタより、第1楽章または終楽章を選んで演奏すること。

【本選】[単楽章部門] 以下のピアノソナタより、第1楽章または終楽章を選んで演奏すること。

[アカデミー部門] 以下のピアノソナタより1つ選び、(1) 全楽章を演奏、(2) 第1楽章または終楽章と、バロックまたは古典期の作品を組み合わせると約20分程度のプログラムを演奏する、のいずれかを選択すること。

※ (1)、(2) は同一部門として審査を行います

作曲家	番号	調性	作品番号	作曲家	番号	調性	作品番号
ハイドン	第31番	変イ長調	Hob.XVI:46	ベートーヴェン	第8番	ハ短調	Op.13
	第33番	ハ短調	Hob.XVI:20		第11番	変ロ長調	Op.22
	第60番	ハ長調	Hob.XVI:50		第12番	変イ長調	Op.26
	第62番	変ホ長調	Hob.XVI:52		第13番※1	変ホ長調	Op.27-1
モーツァルト	第3番	変ロ長調	K.281		第14番※1	嬰ハ短調	Op.27-2
	第4番	変ホ長調	K.282		第15番	ニ長調	Op.28
	第6番	ニ長調	K.284		第16番	㊦長調	Op.31-1
	第8(9)番	ニ長調	K.311		第17番	ニ短調	Op.31-2
	第9(8)番	イ短調	K.310		第18番	変ホ長調	Op.31-3
	第10番	ハ長調	K.330		第21番	ハ長調	Op.53
	第12番	へ長調	K.332		第22番	へ長調	Op.54
	第13番	変ロ長調	K.333		第23番※2	へ短調	Op.57
	第14番	ハ短調	K.457		第24番	嬰へ長調	Op.78
	第15(18)番	へ長調	K.533		第26番	変ホ長調	Op.81a
第17(16)番	変ロ長調	K.570	第27番		ホ短調	Op.90	
第18(17)番	ニ長調	K.576	第28番※1		イ長調	Op.101	
ベートーヴェン	第2番	イ長調	Op.2-2		第30番※1	ホ長調	Op.109
	第3番	ハ長調	Op.2-3		第31番	変イ長調	Op.110
	第4番	変ホ長調	Op.7		第32番	ハ短調	Op.111
	第7番	ニ長調	Op.10-3				

※1 ベートーヴェンの以下の曲については、連続した楽章を1つとみなして演奏すること

ソナタ第13番 第1楽章&第2楽章・第3楽章&第4楽章 / ソナタ第14番 第1楽章&第2楽章 / ソナタ第28番 第1楽章&第2楽章 / ソナタ第30番 第1楽章&第2楽章

※2 ベートーヴェン ピアノソナタ 23番 第3楽章のプレスト部分(308~325小節)は要リビート

マスタークラス (ジュニア育成部門・アカデミー部門)

本コンクールの大きな特色でもあるマスタークラス。今年もジュニア育成部門・アカデミー部門で開催いたします。音楽大学教授、ピアニストの先生方を講師にお迎えして、座学と実技(公開レッスン)、両面からソナタを学ぶことが出来る特別なクラスです。「知る」「聴く」という活動や参加者同士の交流から生まれるアカデミックな学びを育み「弾く」につながる気付きをもたらします。

両部門とも、桐朋学園大学 調布キャンパスをお借りして開催いたします。一日の受講を通して音楽大学の雰囲気や施設を体感できる貴重な機会になるかと思えます。

※ジュニア育成部門は福田靖子賞基金から協賛をいただいて開催します。

※一般の方の聴講は9月頃よりお申し込みを開始いたします。

※マスタークラスの座学・実技レッスンは、ペティナ・eラーニングで後日公開いたします。

予めご了承ください。

S 右の二次元バーコードより過去のeラーニングをご覧いただけます。※eラーニング会員のみ



▲ ペティナeラーニング

【ジュニア育成部門】



実技レッスン



実技レッスン



ワークショップ



相談室



集合写真



▲ 開催レポート

【アカデミー部門】



実技レッスン



実技レッスン



基調講演



座学



集合写真



▲ 開催レポート

第11回ソナタコンクールマスタークラス講師陣

今年も経験豊富な講師陣が担当いたします。

※4月時点での予定となります。変更になる場合には公式ホームページにて発表いたします。

【ジュニア育成部門】12月5日（土）10:00~18:30頃

講師名（敬称略）	略歴	担当講座
今田 篤	愛知県立芸術大学専任講師、名古屋音楽大学講師	実技レッスン
梅田 智也	名古屋芸術大学専任講師、愛知県立明和高等学校音楽科非常勤講師	実技レッスン
梅村 知世	ピアニスト	実技レッスン
菅原 望	名古屋音楽大学専任講師、常盤木学園高等学校・菊里高等学校・明和高等学校講師、宇都宮短期大学特別講師	ワークショップ
稲沢 朋華	第49回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ 桐朋学園大学大学院特待奨学生	トークコンサート



©Marisa Shimamoto

今田 篤 先生

梅田 智也 先生

梅村 知世 先生

菅原 望 先生

ゲスト講師

稲沢 朋華さん

【アカデミー部門】12月6日（日）10:00~18:30頃

講師名（敬称略）	略歴	担当講座
江口 玲	東京藝術大学教授	基調講演・実技レッスン
高田 匡隆	東京音楽大学准教授、桐朋学園大学講師	実技レッスン
朴 久玲	桐朋学園大学教授	実技レッスン
赤松 林太郎	大阪音楽大学教授、洗足学園音楽大学客員教授、宇都宮短期大学客員教授、平成音楽大学客員教授	座学



©井村重人

江口 玲 先生

高田 匡隆 先生

朴 久玲 先生

赤松 林太郎 先生

会場（桐朋学園大学調布キャンパス）

桐朋学園大学のご協力のもと、実際に授業やレッスンで使用されている教室をお借りいたします。

所在地：東京都調布市調布ヶ丘 1-10-1（京王線調布駅より徒歩7分）



第10回ソナタコンクール金賞受賞者インタビュー

本選にて金賞を受賞された方々にインタビューを行いました！ぜひご覧ください。
ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。今後のご活躍を楽しみにしております！



▲ 入賞者動画

月ソナチネ部門 福地 南実さん

このたびは金賞をいただき、大変うれしく思います。先生にすすめていただいたことをきっかけにソナタコンクールに参加し、ハイドンのソナタ Hob.XVI:4 第1楽章に初めて取り組みました。ハイドンの音楽の明るさや軽やかさを感じ取りながら、表現を意識して練習しました。特に装飾音符はそろえることが難しく苦戦しましたが、繰り返し練習することで少しずつ形にできるようになりました。ご指導くださった先生に感謝し、さらに表現の幅を広げ、より完成度の高い演奏ができるよう努力していきます。



月ジュニア育成部門 宮内 彩楽さん

普段は音楽のことを一日中考えられる日が少ないので、マスタークラスで思いきり学びたいと思い、ソナタコンクールにチャレンジしました。古典は苦手意識がありましたが、先生と相談しながら、可愛くて一番好きな曲を選びました。マスタークラスでは皆さんと一緒に学ぶことができ、とにかく全てが楽しくて、また受けたいと思いました。今後は色々なコンクールに参加しながら、作曲家や曲のイメージによって音色が変えられるようにたくさん練習して、聴いている人を楽しんでもらえるような演奏ができるようになりたいです。



月ソナタ単楽章部門 末次 未岬さん

ハイドンの音楽に関心があり、古典派の音楽をより深く学ぶため、ソナタコンクールに参加しました。長期間取り組むほど、ハイドンの音楽が持つユーモアを表現する難しさや面白さを追求でき、学んでいてとても楽しかったです。音を味わい、よく聴くことの重要性を今回のコンクールを通して改めて感じました。言語を学んだり、文化や人に触れたりしていくことで、古典派の音楽への理解を深め、これからの音楽表現に活かしていきたいです。



月ソナタ全楽章部門 鈴木 香耶さん

ソナタ全楽章を弾く機会があり、アドバイスをいただきたく参加しました。マスタークラスでは実技レッスンに加えて、曲の構成やベートーヴェンが生きた時代背景なども教えてくださり多くの学びがありました。さらに当時の作曲家が弾いていたチェンバロやフォルテピアノの音や仕組みを知ったことで、より曲への理解が深まりました。他の受講生のレッスンを聴講し、様々な曲に触れられたこともよい刺激となりました。充実したプログラムを受けることができ、大変ありがたく思っています。今後も作曲家や曲の背景について理解を深め、自分の表現を追求していきたいです。



CLASSICAL PIANO SONATAS

最初の一步は、
ヘンレ社至高の
原典版で



www.henle.de/jp/

G. Henle Verlag



Finest Urtext Editions

